



### 紅葉の季節に千倉ダムへ

朝夕の冷え込みがだんだんと厳しくなってきた11月某日。天気も良い日が続いているので、千倉ダムまで足を延ばしてみました。

秋晴れの中で訪れた千倉ダムは、水量も多く、周りには紅葉も見えました。行楽シーズンの今ですが、地元にも素敵な場所がたくさんありますね。

千倉ダム  
～三花風土記より～

天神、清水両町の背後にある畑作台地は古くから羽野原、用松原と呼ばれていたが、畑地かんがい事業のなかで「山田原」に統一され、今は古い呼び名は聞かれなくなった。この一帯、約300ヘクタールの台地は雨水以外に水がなく、困っていた場所でしたが、昭和27年10月に就任した岩尾精一日田市長は盆地で平坦地の少ない農業基盤を拡張するため、台地の開発に着目しました。

この台地のかんがい用として、千倉に60万トンの貯水ダムを建設する計画をたてました。承諾を受けるのが苦勞をしましたが、対象農家全員の理解と協力を得て、昭和30年10月28日、山田原土地改良区の設立許可を受けました。

昭和33年3月に千倉ダムの工事に着工し、事業費は2億1400万円余りとなり、計画から約10年の歳月をかけ、昭和41年3月に完成をしました。

## わが地区・わが町・わが家族 (第60回) ～日田中津道路着工式～

10月18日(日)午前11時から、戸山中体育館において、地域高規格道路「日田山国道路」の着工式が執り行われました。

当日は、三花振興協議会(会長 樋口吉典)の会長・顧問・各自治会長・事務局長に案内がありましたので出席しました。

式典では、主催者を代表し、広瀬勝貞(大分県知事)から、現在、工事が進められている日田中津道路全線(延長約L=50km)における、工事の進捗状況や事業の効果について説明があり、「日田山国道路」についても、関係者の皆様のご理解・ご協力を得て、一日も早い完成を目指したいとの挨拶がありました。

続いて、開催市を代表し原田啓介(日田市長)が挨拶され、その後、来賓祝辞、来賓紹介に続いて、関係者による「鍬入れ」、中津市長の謝辞で閉式となりました。

※「日田山国道路」は延長L=8.8kmで、日田～山国間を結ぶ無料の自動車専用道路(高速道路)です。地形が急峻であり、トンネル等の構造物が多くなるようです。



広瀬知事のあいさつ



鍬入れの様子

### 公民館・地区の予定

- 11月16日(月)男の料理教室
- 11月17日(火)子育てサロン
- 11月18日(水)三和小 チューリップ球根配付
- 11月19日(木)戸山中 チューリップ球根配付
- 11月26日(木)社協 配食サービス
- 11月28日(土)人権講演会(パトリア)
- 12月 2日(水)暁大学(最終講)
- 12月 4日(金)女性セミナー
- 12月 5日(土)三花チャレンジ教室
- 12月24日(木)社協 配食サービス
- 12月29日(火)～1月3日(日)正月休み
- 1月 4日(月)仕事始め
- 1月 8日(金)女性セミナー
- 1月10日(日)令和3年日田市成人式

### 部落差別解消推進地域研修会

11月9日(月)に自治会長・民生委員・児童委員・町内人権推進委員・公民館職員を対象に、日田市主催で研修会が三花公民館で開催されました。

講師は大分県人権問題研修講師の大石緑さんで、「部落差別の現実に学ぶ」と題して講演していただきました。部落差別の歴史についてのお話や解放運動を行う事で、教科書の無償化や履歴書の統一などの成果を上げてきたことが詳しくわかりました。



### 公民館自主学習教室

#### 【午前の部】

- ・三花にこにこステップの会第24火曜日
- ・料理教室(第2木曜)
- ・歌声サロン【新規】(第2月曜)
- ・ヨガ教室【新規】(水曜・月4回)

#### 【午後の部】

- ・大正琴教室(第2・4月曜)
- ・囲碁愛好会(毎週火曜日)
- ・絵手紙教室(第3火曜)
- ・シルバー歌謡教室(第2・4水曜)
- 【夜の部】
- ・ひよっこ踊り(第1・3月曜)
- ・詩吟教室(第1・2・3火曜)
- ・卓球教室(毎週水曜)
- ・エアロビクス教室(毎週木曜)
- ・パソコン教室(第2・4木曜)
- ・カラオケ教室(第1・3土曜)

### すずめの学校分校

- 天神町分校 毎月第2火曜
- 三和団地分校 毎月第4火曜
- 清水町分校 毎月第4月曜
- 財津町分校 毎月第3木曜
- 藤山町分校 毎月第1月曜
- 秋原町分校 毎月第3金曜
- 市ノ瀬町分校 毎月第3金曜
- 小内町分校 毎月2回 木曜
- 伏木町分校 毎月第1火曜

※まずは見学からでも結構です  
気軽な気持ちで問い合わせてください  
いー緒に楽く学びましょー

## 公民館事業

○三花チャレンジ教室

9月19日(土)に『カプラーブロック体験』を八女市の東裕大先生に教えてもらいながら行いました。

小さなブロック一つ一つを集中して積み上げ、天井に届くような塔を作ったり人が入れるようなかまくらを作ったりしました。とても集中力のいる作業で、とても良い体験となりました。



10月17日(土)エホントの3人に来ていただき、絵本の読み聞かせをしていただきました。表現豊かに読み聞かせをしていただき、引き込まれ想像力も豊かになります。

児童からは  
エホントの  
みなさん、楽しい時間をありがとうございました！



○みはな女性セミナー

10月2日(金)椅子ヨガ体験を行いました。講師は日田のキャンペーンレディとしても活躍をされている上戸木綿子さんです。

呼吸を意識しながら自分の身体としっかりと向き合えるヨガ。椅子に座って行うことにより、より一層、自分のペースで運動を行うことができました。

1時間15分ほどの活動でしたが、集中して身体を動かしました。心なしか皆さんの姿勢も良くなったように感じました。

11月6日(金)は『この時期の体調管理とお薬の話』というテーマで岩里薬局の岩里孝子先生に講師をお願いしました。



○男の料理教室

10月19日(月)に第4講を開催しました。秋といえば『○○の秋』というりと連想されますが、やはり食べ物がおいしい季節です。

この日のメニューは「牛肉とらもやしの甘辛炒め」「やま芋の茶巾しほり」など。手際よく和気あいあいと調理をされました。



○暁大学

11月5日(木)は『健康・介護予防について』日田市の坂本保健師、西部包括支援センターの宮崎さんに講師を依頼しました。日田市の状況、三花の状況を坂本さんが丁寧に説明していただき、フレイルについて宮崎さんが話をしていただきました。



大事なのは、健康に対する意識を高め、食や運動を継続的に気をつけることだと改めて感じる事が出来ました。

○三花子育てサロン(三花社協主催)今年度の子育てサロンが10月20日(火)にやっとスタートできました。日田市の健康保険課より坂本さんに来ていただき、身体測定等を行いました。また、緑ヶ丘幼稚園の先生に来ていただき、楽しい時間を過ごすことができました。



## すずめの学校分校だより

～清水町分校～【10月26日(月)】

すずめの学校は、気軽に楽しく認知症の予防と健康増進を目的に、三花地区各町で開催されています。健康なうちから始めると効果的！ぜひ、ご参加ください！！

玄関先には消毒液もあり、全員がマスクを着用して新型コロナウイルスの対策を行い、すずめの学校が中村公民館で開催されていました。全体的に和やかな雰囲気の中でも、皆さんが集中した時にはピリッとした空気の流れるメリハリのある教室でした。



生徒の中から93歳の平島サナエさんにお話を聞いてみました。

「長いことお世話になり、いつも楽しみにしています。最近は家から出るのが、おっくうになってきましたが、習慣となっているすずめの学校はみんなとも話せるし、とても楽しいです。同じ年の方も来てるので、一緒に頑張っていきたいですね」と笑顔で話してくれました。

どの分校も楽しい教室です。参加してみませんか？

～みはなすずめの学校 指導者代表者会議～

新型コロナウイルスの影響で、公民館の活動が3月から自粛をしていた為、三花すずめの学校も活動を自粛していました。各分校の状況を把握するためにも三花公民館において、第1回(5月27日)、第2回(6月23日)、第3回(10月26日)と会議を行ってきました。

各分校の活動再開は第2回の会議において、各分校指導者の判断に任せることとなり、現在9校中7分校が感染対策を行いながら、すずめの学校を再開しています。

すずめの学校の各分校では、換気を行い、消毒液を配置し、予防の意識をもって活動しています。ご興味を持たれましたら、見学からでも参加ください。問合せ：三花公民館 24-3388

## ぶらり散策 みはなの歴史・文化 (第61回) 庄屋と農民一穴井義民の直訴

村という運命共同体の中で、農民の側に立って行動した庄屋は、数多くあるが、その典型的なひとりとして挙げられるのが、かの馬原村庄屋 穴井六郎右衛門である。

六郎右衛門の行状は、あまりに名高し、直接に三花の歴史と関係があるわけではないので、述べないが、かねてからの、荒地の開発や、切添え、溜池・水路の造成など、農民の一人として、云わば篤農家的な資質の面が、あったと思われる。

古希の年齢を超えて、なお行動に出ようとする気概と、この農民的資質が、権力に対しても、止むに止まれぬ気持ちを、掻き立てたのだろう。

延享3年(1746)も師走の28日の夕べ、寒風の吹きすさぶ中、もう真っ暗な浄明寺川原の刑場で、六郎右衛門と次男の要助、飯田惣次の3人は、斬罪に処せられた。

龍川寺の水誉竜作和尚は、前まえ、助命を嘆願していたが、既に処刑の報をうけて、ひそかに刑場に赴いて、3人の首級を持ち帰った。

そして寺内に埋葬して、小さな自然石を以て墓標とした。

この件について埋葬、法要などがお構いなしになってからのち、3人の7回忌に、あらためて供養塔を建てて、法要を営んだ。

この馬原供養塔は、龍川寺に現存しているが、公をはばかって、六郎左衛門、用助、惣次郎と、少しずつ名を変えている。この事件に関する幕府の一連の申し渡しの中で、藤山村の庄屋 忠左衛門は、渡里村庄屋などともに、白銀5枚を賜っている。

(「三花風土記」より)